

## 管内信用金庫の平成 23 年 3 月期決算の概要【速報集計値】

### 1. 損益の状況

- コア業務純益は、経費の増加等により、前期に比べ 4.1%の減益。
- 当期純利益は、与信関係費用は減少したものの、コア業務純益の減益に加え、株式等関係損益の悪化等により、前期に比べ 3.7%の減益。

(単位：億円)

	21 年 3 月期	22 年 3 月期	23 年 3 月期	前期比	増減率
業務粗利益	3,144	3,772	3,871	+99	+2.6%
資金利益	3,442	3,448	3,454	+6	+0.2%
役務取引等利益	191	173	170	▲3	▲1.7%
債券等関係損益	▲502	119	228	+109	+91.6%
うち、債券等償却(▲)	▲447	▲27	▲11	+16	▲59.3%
経費(▲)	▲2,838	▲2,772	▲2,798	▲26	+0.9%
コア業務純益	808	880	844	▲36	▲4.1%
与信関係費用(▲)	▲450	▲390	▲337	+53	▲13.6%
株式等関係損益	▲387	44	▲46	▲90	赤字化
うち、株式等償却(▲)	▲354	▲18	▲60	▲42	+233.3%
当期純利益	▲620	462	445	▲17	▲3.7%

(参考)

	21 年 3 月期	22 年 3 月期	23 年 3 月期
預金等(平残)	22.8兆円	23.3兆円	23.8兆円
貸出金(平残)	12.3兆円	12.6兆円	12.6兆円

### 2. 不良債権の状況

- 不良債権額は前期に比べ増加。不良債権比率も前期に比べ上昇。

	21 年 3 月期	22 年 3 月期	23 年 3 月期
不良債権額	7,536億円	7,502億円	8,168億円
不良債権比率	5.82%	5.80%	6.28%

### 3. 自己資本比率の状況

- 自己資本比率は前期に比べ上昇。

	21 年 3 月期	22 年 3 月期	23 年 3 月期
自己資本比率	13.52%	14.31%	14.77%

- (注 1) 計数は今後業績修正等により変更の可能性がある。  
 (注 2) 計数は単体ベース。  
 (注 3) 集計対象は管内 39 信用金庫。  
 (注 4) 経費、与信関係費用、債券等償却及び株式等償却について、正の値は益を、負の値は損を表す。

### 【お問合せ先】

財務省 東海財務局 金融監督第二課  
TEL：(052) 951-1774

# 管内信用金庫の平成23年3月期決算の概要 (速報集計値)



平成23年6月17日  
東 海 財 務 局



# はじめに

東海財務局管内に本店を置く信用金庫(以下の39庫)の平成23年3月期決算について、取りまとめを行ったのでこれを公表する。

管内の金融機関(金融機関コード順)

## 【静岡県内(12)】

静岡信用金庫(静岡市)、静岡清信用金庫(静岡市)、浜松信用金庫(浜松市)、沼津信用金庫(沼津市)、三島信用金庫(三島市)、富士宮信用金庫(富士宮市)、島田信用金庫(島田市)、磐田信用金庫(磐田市)、焼津信用金庫(焼津市)、掛川信用金庫(掛川市)、富士信用金庫(富士市)、遠州信用金庫(浜松市)

## 【岐阜県内(7)】

岐阜信用金庫(岐阜市)、大垣信用金庫(大垣市)、高山信用金庫(高山市)、東濃信用金庫(多治見市)、関信用金庫(関市)、八幡信用金庫(郡上市)、西濃信用金庫(揖斐郡大野町)

## 【愛知県内(15)】

愛知信用金庫(名古屋市)、豊橋信用金庫(豊橋市)、岡崎信用金庫(岡崎市)、いちい信用金庫(一宮市)、瀬戸信用金庫(瀬戸市)、半田信用金庫(半田市)、知多信用金庫(半田市)、豊川信用金庫(豊川市)、豊田信用金庫(豊田市)、碧海信用金庫(安城市)、西尾信用金庫(西尾市)、蒲郡信用金庫(蒲郡市)、尾西信用金庫(一宮市)、中日信用金庫(名古屋市)、東春信用金庫(小牧市)

## 【三重県内(5)】

津信用金庫(津市)、北伊勢上野信用金庫(四日市市)、三重信用金庫(松阪市)、桑名信用金庫(桑名市)、紀北信用金庫(尾鷲市)

※ 各計数は、暫定の集計値に基づくものであり、今後変動があり得る。

※ 各計数は、各庫の公表資料及び当局調査に基づく計数(単体ベース)を集計したものである。

(定義) ・比率は加重平均。  
・端数整理:東海管内の計数集計においては、単位未満切捨てで処理。  
・端数整理後の計数により計算している項目もある。



# (参考) 収益指標

- 業務粗利益

業務粗利益 = 「資金利益」+「役務取引等利益」+「その他業務利益等」

- 実質業務純益

実質業務純益 = 「業務粗利益」-「経費」

- コア業務純益

コア業務純益 = 「実質業務純益」-「債券等関係損益」

○債券等関係損益 = 債券等関係収益(売却益+償還益) - 債券等関係損失(売却損+償還損+償却)

- 業務純益

業務純益 = 「業務収益」-「業務費用」  
= 「業務粗利益」-「経費」-「一般貸倒引当金繰入額」

○業務収益 = 「資金運用収益」+「役務取引等収益」+「その他業務収益」

○業務費用 = 「資金調達費用(金銭の信託運用見合費用控除後)」+「役務取引等費用」  
+「その他業務費用」+「一般貸倒引当金繰入額」+「経費」



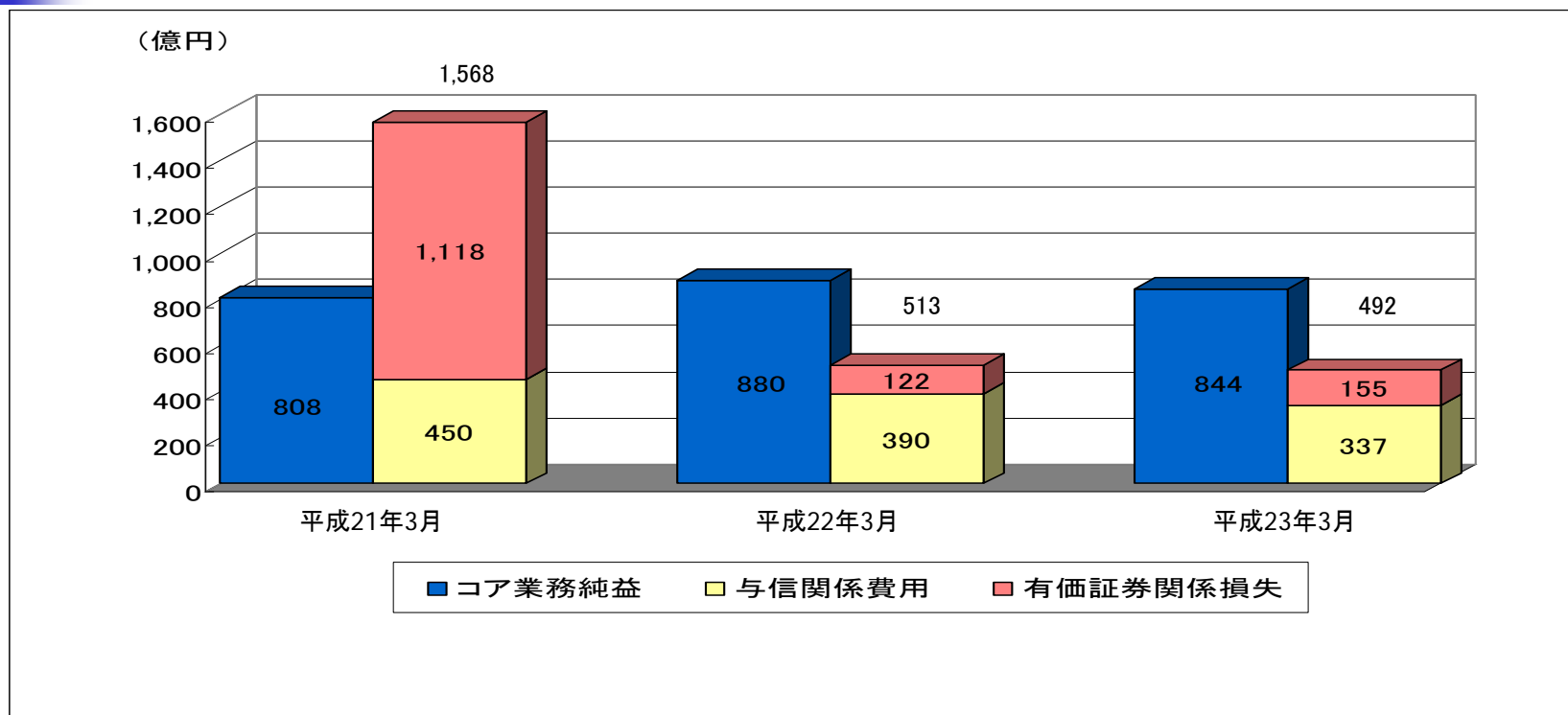
# 損益の状況

(単位: 億円)

	21年3月期	22年3月期	23年3月期	前年同期比
業務粗利益	3,144	3,772	3,871	+99
資金利益	3,442	3,448	3,454	+6
役務取引等利益	191	173	170	▲ 3
債券等関係損益	▲ 502	119	228	+109
うち債券等償却(▲)	▲ 447	▲ 27	▲ 11	+16
経費(▲)	▲ 2,838	▲ 2,772	▲ 2,798	▲ 26
コア業務純益	808	880	844	▲ 36
与信関係費用(▲)	▲ 450	▲ 390	▲ 337	+53
株式等関係損益	▲ 387	44	▲ 46	▲ 90
うち株式等償却(▲)	▲ 354	▲ 18	▲ 60	▲ 42
当期純利益	▲ 620	462	445	▲ 17



# コア業務純益に対する 与信関係費用と有価証券関係損失の状況



(日経平均株価:期末) (8,109円)

(11,089円)

(9,755円)

(10年国債金利:期末) (1.342%)

(1.395%)

(1.255%)

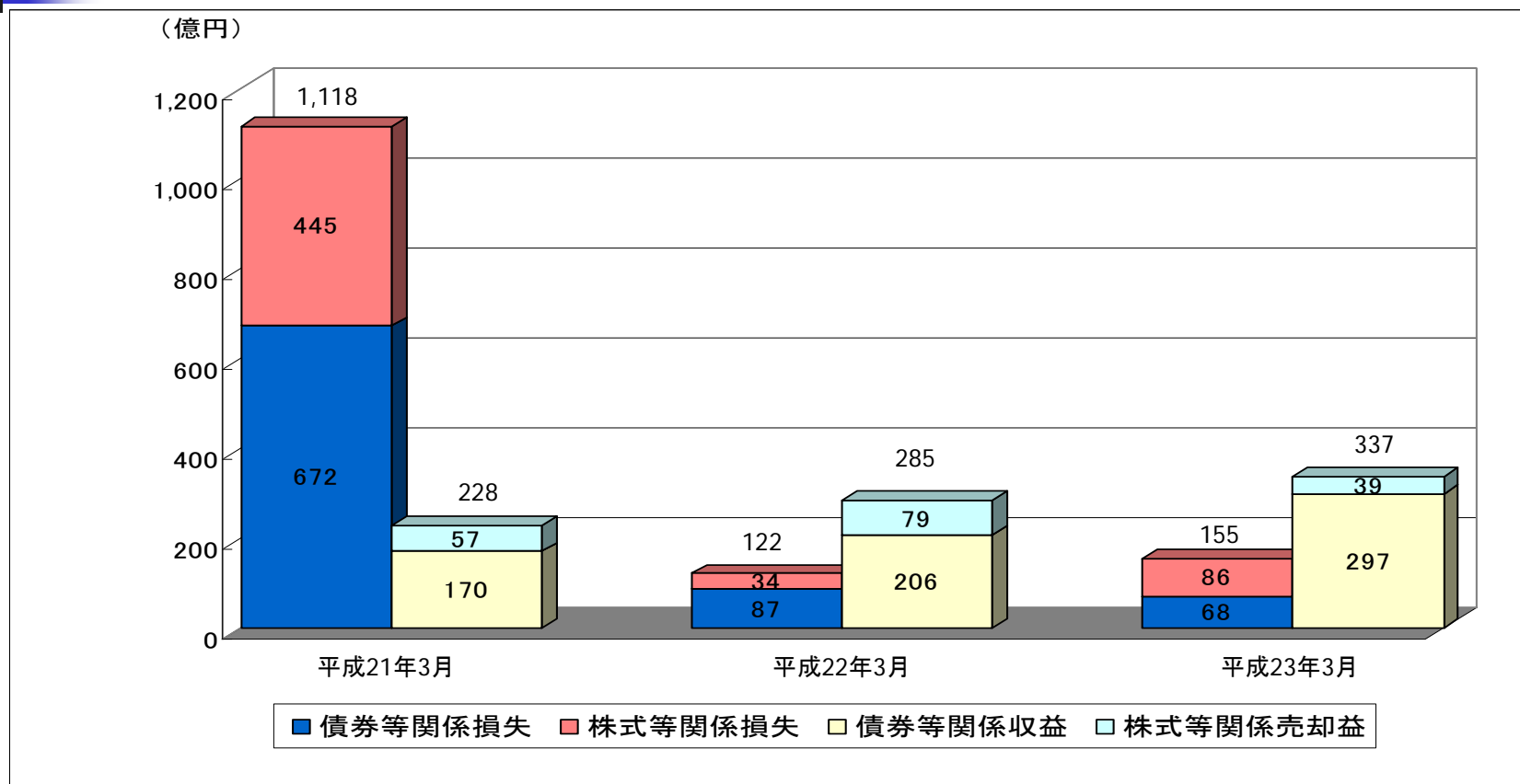
(注) ○有価証券関係損失=債券等関係損失(売却損+償還損+償却)+株式等関係損失(売却損+償却)

○与信関係費用=一般貸倒引当金純繰入額+個別貸倒引当金純繰入額+貸出金償却+債権売却損

[出所]財務省ホームページ(国債金利情報)



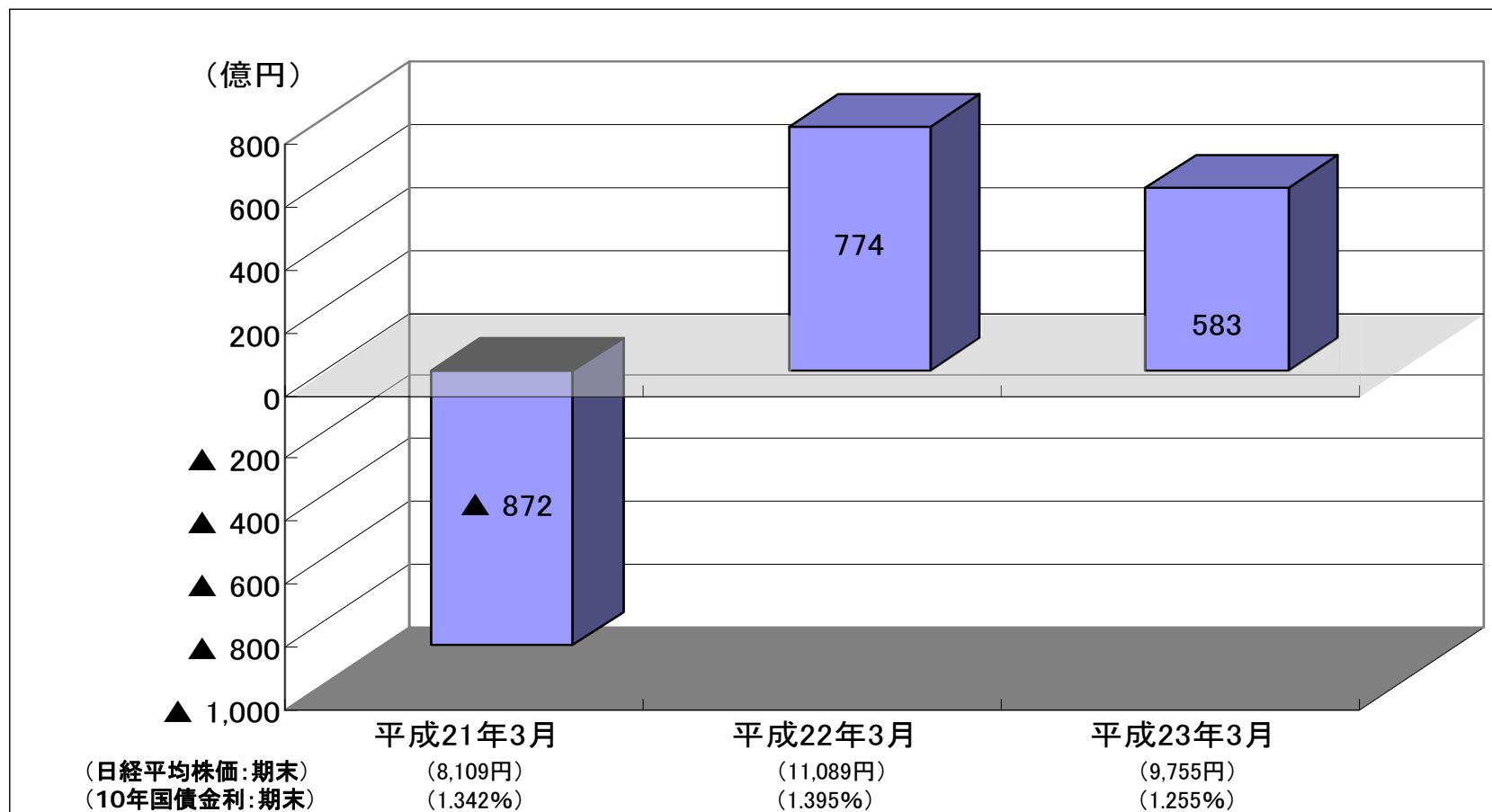
# 有価証券関係損益の状況



(注) 債券等関係損失 = 売却損 + 償還損 + 償却  
 債券等関係収益 = 売却益 + 償還益  
 株式等関係損失 = 売却損 + 償却  
 株式等関係売却益 = 売却益



# その他有価証券評価差額の状況



(注) その他有価証券評価差額 = その他有価証券の時価 - その他有価証券の簿価

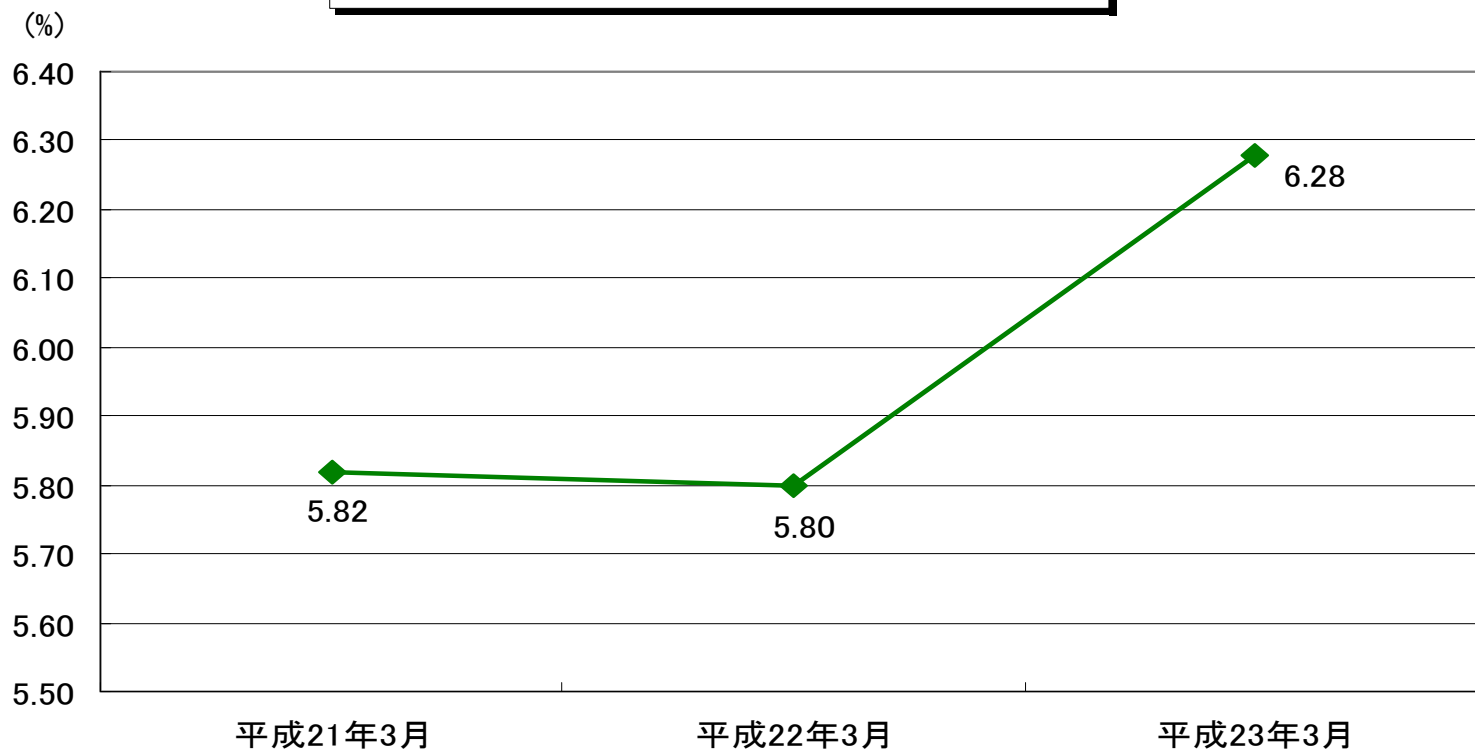
[出所] 財務省ホームページ(国債金利情報)



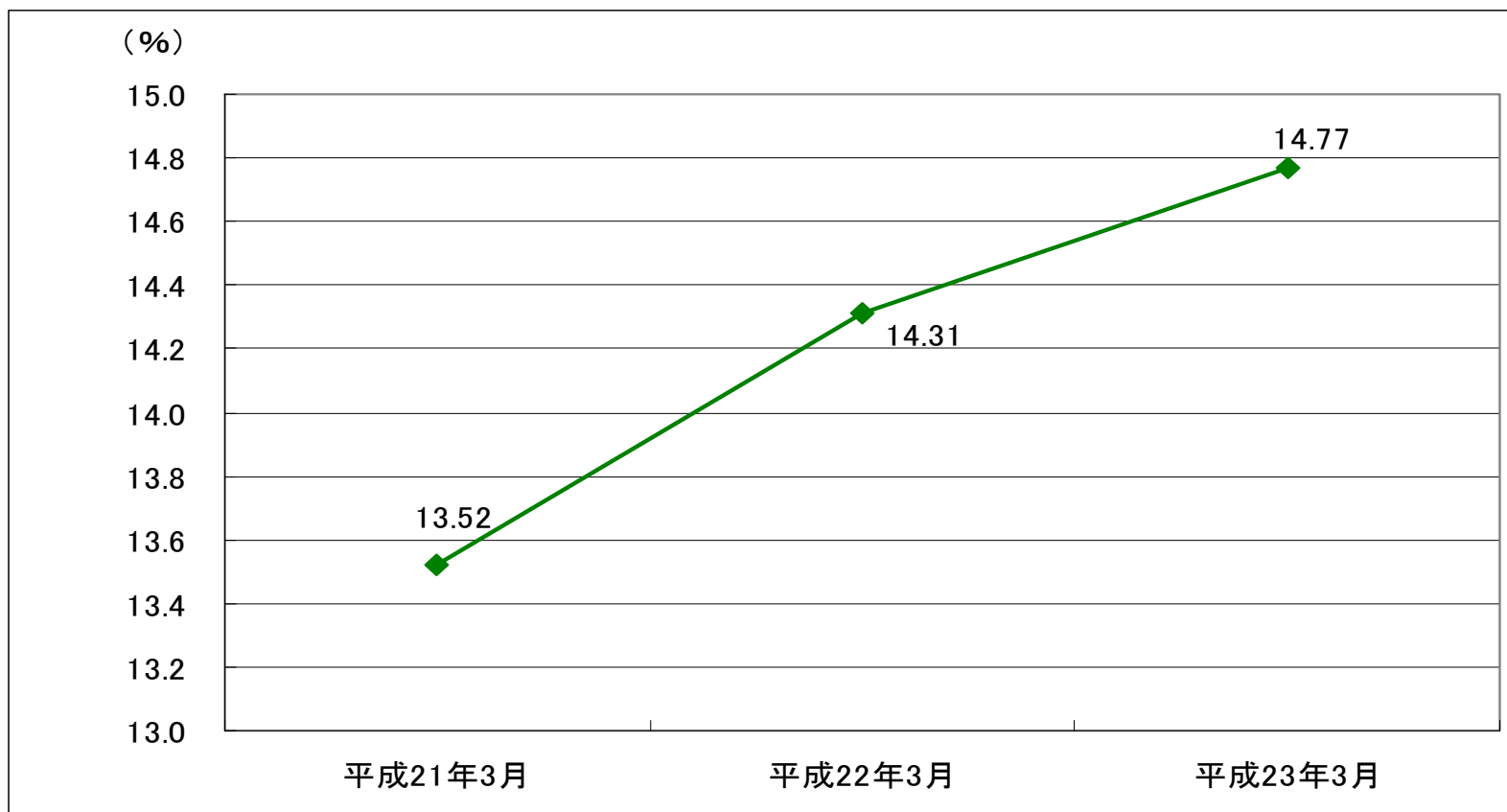


# 不良債権比率

不良債権比率(金融再生法開示債権比率)の推移

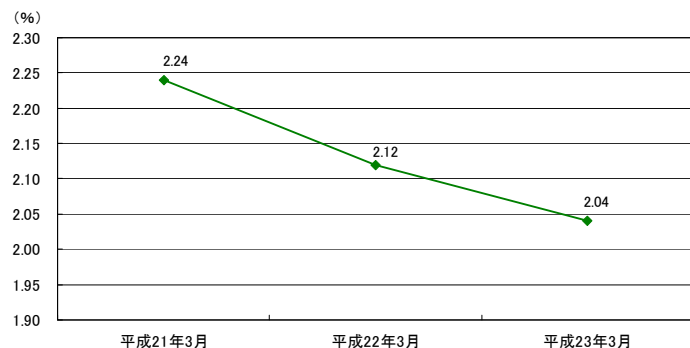


# 自己資本比率の状況

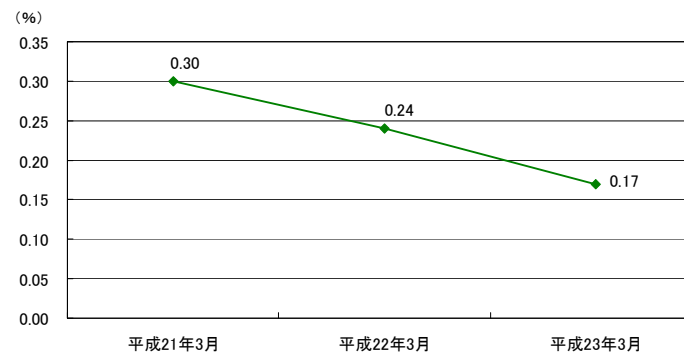


# 預貸金利回の状況

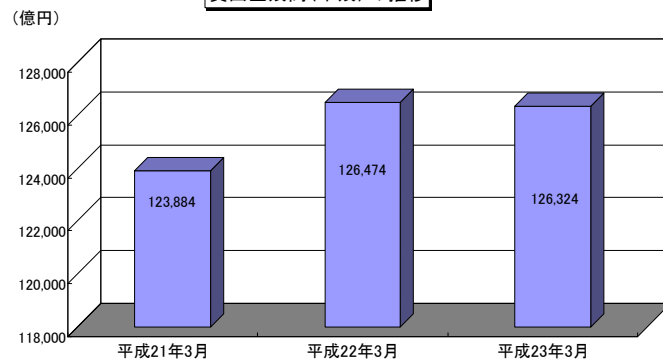
貸出金利回の推移



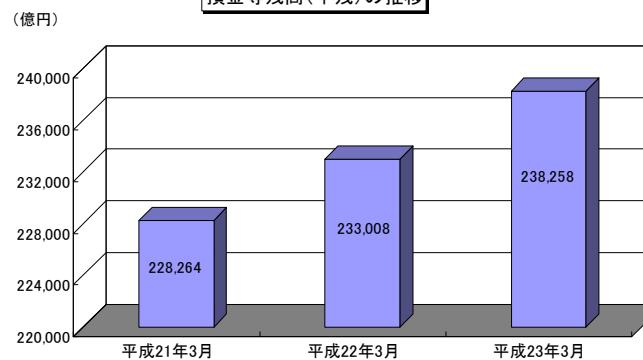
預金等利回の推移



貸出金残高(平残)の推移



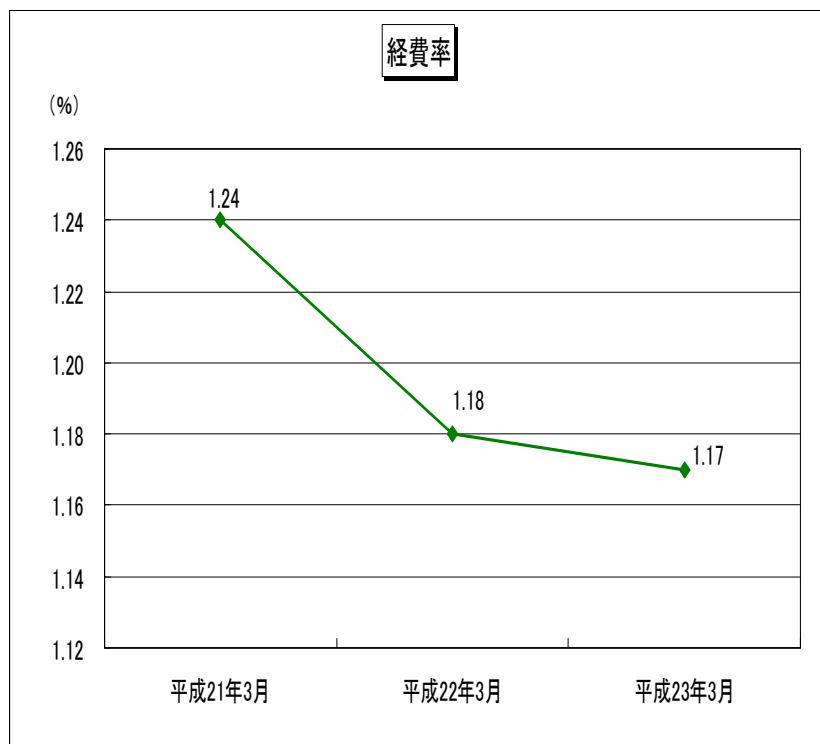
預金等残高(平残)の推移



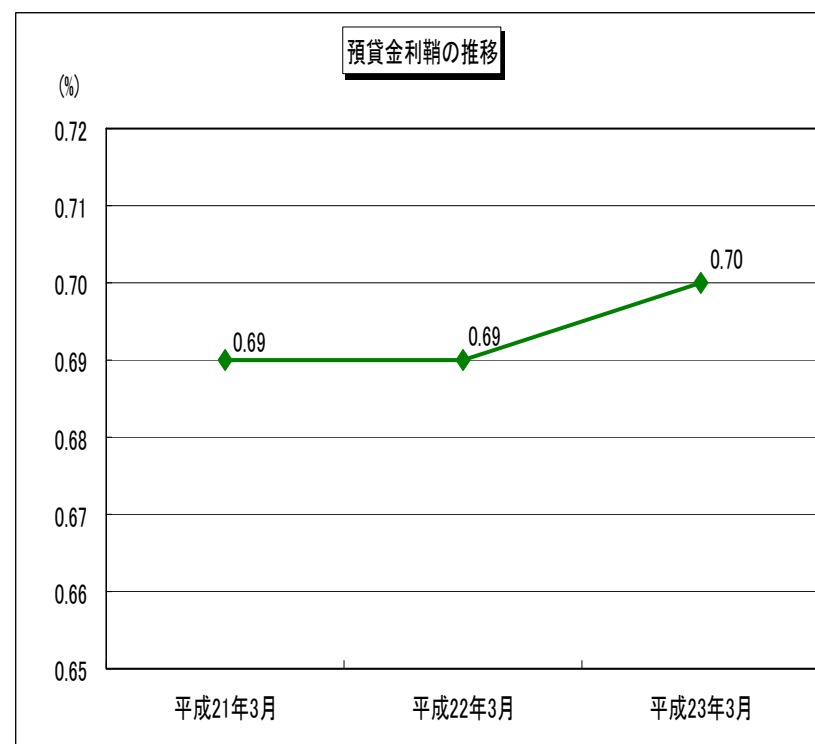
(注) 預金等＝預金＋譲渡性預金



# 経費率及び預貸金利鞘の状況



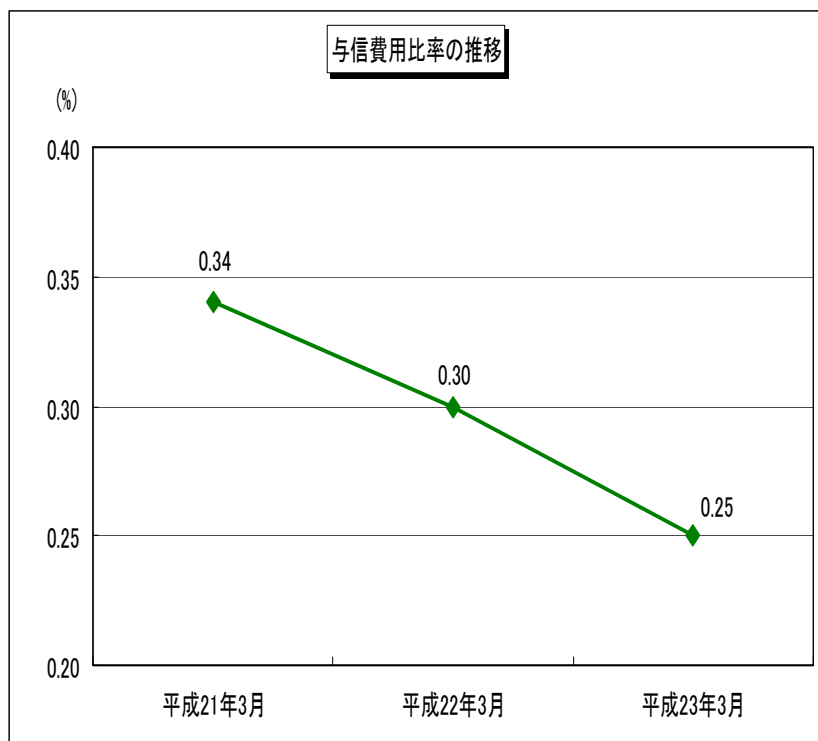
(注) 経費率 (%) = 経費 ÷ 預金等 (平残) × 100



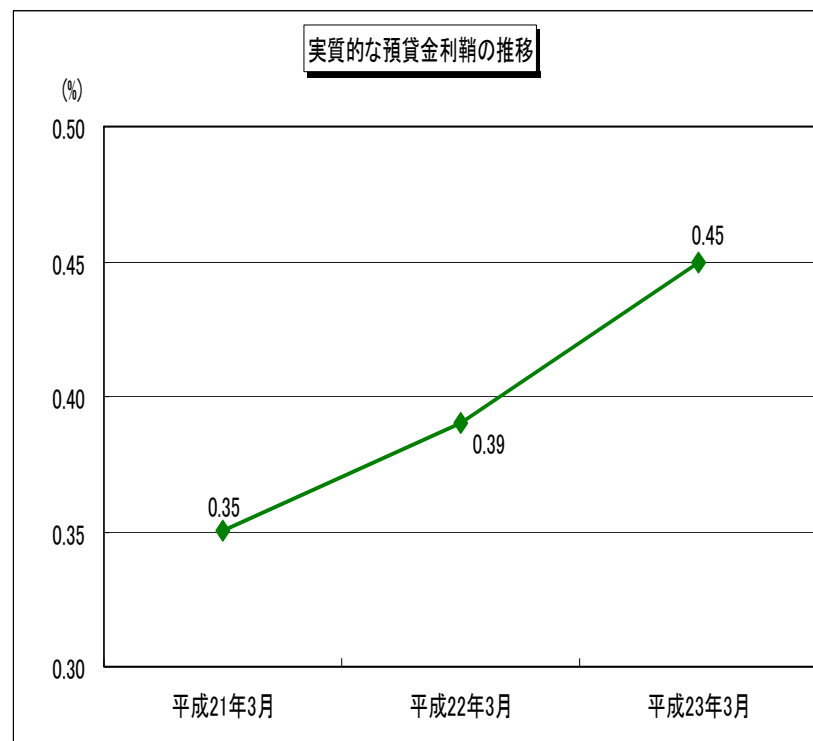
(注) 預貸金利鞘 (%) = 貸出金利回 (%) - 預金債券等原価 (%)  
預金債券等原価 (%) = (預金等利息 + 経費) ÷ 預金等 (平残) × 100



# 実質的な預貸金利鞘の状況



(注) 与信費用比率 (%) = 与信関係費用 ÷ 総与信 × 100



(注) 実質的な預貸金利鞘 (%) = 預貸金利鞘 (%) - 与信費用比率 (%)



# (参考)管内信用組合の平成23年3月期決算の概要 【速報集計値】

(単位:億円、%)

	21年3月期	22年3月期	23年3月期
預金等(平残)	11,603	11,800	12,120
貸出金(平残)	6,059	6,117	6,191
コア業務純益	40	44	44
有価証券関係損益	▲ 48	3	10
当期純利益	▲ 33	11	29
不良債権比率	11.06	11.02	10.78
自己資本比率	12.21	12.33	12.55

(注)各計数は、東海財務局管内に本店を置く信用組合(16組合)の平成23年3月期決算を集計したものであり、  
今後、業績修正等により変更の可能性あり。

